景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

郵送による無記名アンケート方式
調査時点　　平成28年3月1日発送
　　平成28年3月11日投函期限
調査対象　　信用保証利用先1,500企業
有効回答数　　317 企業（回答率　21.1% ）

※ 当期：H28年1月～3月実績見込
次期：H28年4月～6月期予測

【DI値について】

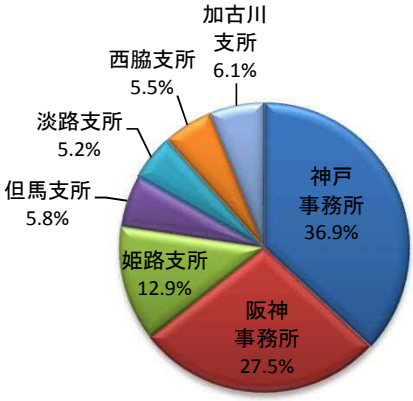
◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

Ⅰ．貴社の概要について

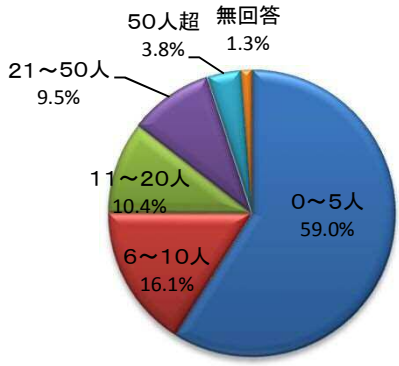
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	114	36.9%
阪神事務所	85	27.5%
姫路支所	40	12.9%
但馬支所	18	5.8%
淡路支所	16	5.2%
西脇支所	17	5.5%
加古川支所	19	6.1%
小計	309	100.0%
地域不明・無回答	8	－
合計	317	－



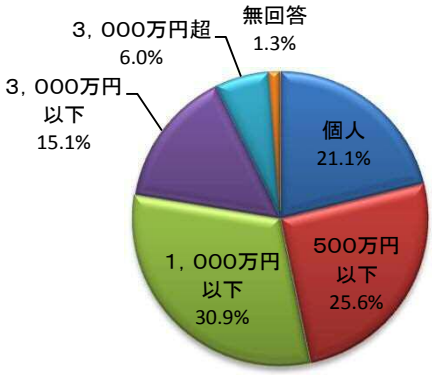
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	187	59.0%
6～10人	51	16.1%
11～20人	33	10.4%
21～50人	30	9.5%
50人超	12	3.8%
無回答	4	1.3%
合計	317	100.0%



資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

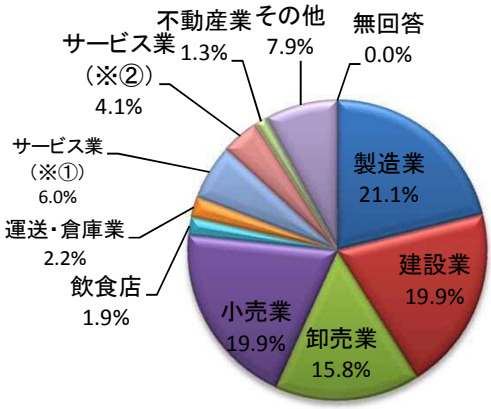
資本金	回答数	構成比
個人	67	21.1%
500万円以下	81	25.6%
1，000万円以下	98	30.9%
3，000万円以下	48	15.1%
3，000万円超	19	6.0%
無回答	4	1.3%
総計	317	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	67	21.1%
建設業	63	19.9%
卸売業	50	15.8%
小売業	63	19.9%
飲食店	6	1.9%
運送・倉庫業	7	2.2%
サービス業（※①）	19	6.0%
サービス業（※②）	13	4.1%
不動産業	4	1.3%
その他	25	7.9%
無回答	0	0.0%
合計	317	100.0%

※① 事業者を対象
※② 一般消費者を対象



Ⅱ．貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

（1）当期（16年1～3月期）は、前期（15年10～12月期）に比べどのような状況ですか。
（2）次期（16年4～6月期）は、当期（16年1～3月期）に比べどう思いますか。

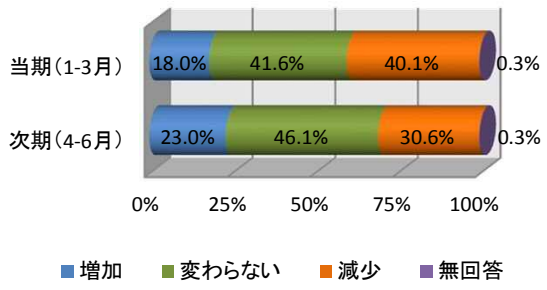
【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	57	18.0%
変わらない	132	41.6%
減少した	127	40.1%
無回答	1	0.3%
総計	317	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	73	23.0%
変わらないと思う	146	46.1%
減少すると思う	97	30.6%
無回答	1	0.3%
総計	317	100.0%



生産・売上DI（増加－減少）

調査時期（実績）	2014年1～3月	2014年4～6月	2014年7～9月	2014年10～12月	2015年1～3月	2015年4～6月	2015年7～9月	2015年10～12月	2016年1～3月	2016年4～6月（見込み）
兵庫県	▲ 7.3	▲ 13.4	▲ 11.3	▲ 8.7	▲ 18.8	▲ 14.3	▲ 16.2	▲ 2.1	▲ 22.1	▲ 7.6

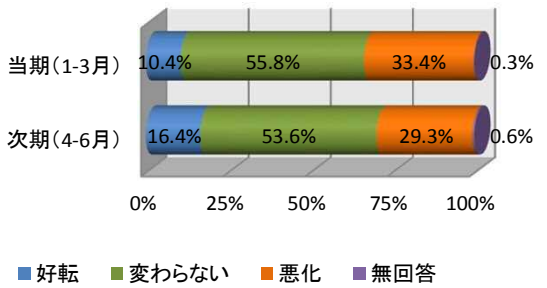
【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	33	10.4%
変わらない	177	55.8%
悪化した	106	33.4%
無回答	1	0.3%
総計	317	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	52	16.4%
変わらないと思う	170	53.6%
悪化すると思う	93	29.3%
無回答	2	0.6%
総計	317	100.0%



採算DI（好転－悪化）

調査時期（実績）	2014年1～3月	2014年4～6月	2014年7～9月	2014年10～12月	2015年1～3月	2015年4～6月	2015年7～9月	2015年10～12月	2016年1～3月	2016年4～6月（見込み）
兵庫県	▲ 19.7	▲ 24.0	▲ 24.5	▲ 18.0	▲ 24.5	▲ 18.7	▲ 23.5	▲ 15.2	▲ 23.0	▲ 12.9

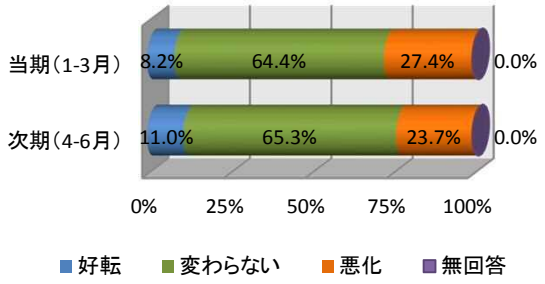
【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	26	8.2%
変わらない	204	64.4%
悪化した	87	27.4%
無回答	0	0.0%
総計	317	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	35	11.0%
変わらないと思う	207	65.3%
悪化すると思う	75	23.7%
無回答	0	0.0%
総計	317	100.0%



資金繰りDI(好転ー悪化)

調査時期(実績)	2014年1～3月	2014年4～6月	2014年7～9月	2014年10～12月	2015年1～3月	2015年4～6月	2015年7～9月	2015年10～12月	2016年1～3月	2016年4～6月(見込み)
兵庫県	▲ 14.6	▲ 15.5	▲ 16.5	▲ 15.3	▲ 20.2	▲ 13.5	▲ 15.9	▲ 13.9	▲ 19.2	▲ 12.6

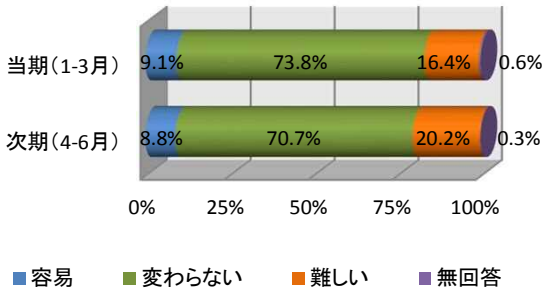
【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	29	9.1%
変わらない	234	73.8%
難しくなった	52	16.4%
無回答	2	0.6%
総計	317	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	28	8.8%
変わらないと思う	224	70.7%
難しくなると思う	64	20.2%
無回答	1	0.3%
総計	317	100.0%



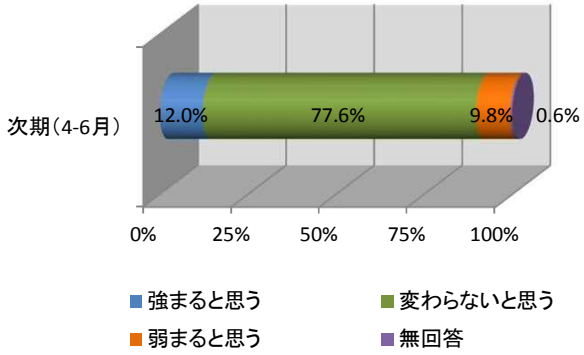
借入難易感DI(容易ー難しい)

調査時期(実績)	2014年1～3月	2014年4～6月	2014年7～9月	2014年10～12月	2015年1～3月	2015年4～6月	2015年7～9月	2015年10～12月	2016年1～3月	2016年4～6月(見込み)
兵庫県	▲ 8.2	▲ 11.7	▲ 8.0	▲ 5.7	▲ 10.3	▲ 8.2	▲ 7.9	▲ 4.5	▲ 7.3	▲ 11.4

当期(1-3月)のDI値は、全ての項目で前回調査(10-12月)に比べ悪化しており、特に「生産・売上」では20ポイントと大幅に悪化しました。
次期(4-6月)の見込みについては、「生産・売上」、「採算」、「資金繰り」の各項目において改善する見込みとなっておりますが、先行きの不透明感は拭えない状態となっています。

【金融機関からの信用保証付要請】
次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	38	12.0%
変わらないと思う	246	77.6%
弱まると思う	31	9.8%
無回答	2	0.6%
総計	317	100.0%



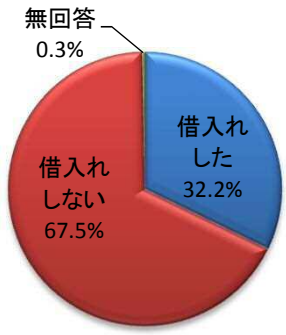
信用保証付要請DI（強まる－弱まる）										
調査時期（見込み）	2013年10～12月（1～3月）	2014年1～3月（4～6月）	2014年4～6月（7～9月）	2014年7～9月（10～12月）	2014年10～12月（1～3月）	2015年1～3月（4～6月）	2015年4～6月（7～9月）	2015年7～9月（10～12月）	2015年10～12月（1～3月）	2016年1～3月（4～6月）
兵庫県	6.4	5.9	4.4	8.0	3.6	2.3	5.8	3.4	2.4	2.2

金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

Ⅲ.当期（16年1～3月期）の借入れ（実績見込）についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。
※手形の割引は含めません

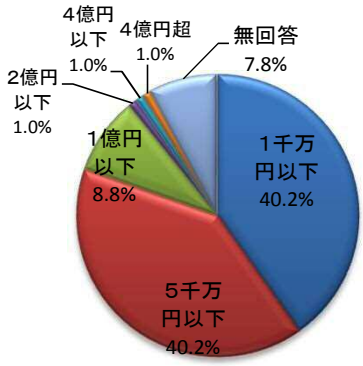
	16年1～3月期		15年10～12月期	15年7～9月期	15年4～6月期	15年1～3月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	102	32.2%	27.3%	29.9%	28.9%	27.4%
借入れしない	214	67.5%	72.1%	69.5%	69.6%	68.1%
無回答	1	0.3%	0.6%	0.6%	1.5%	4.6%
総計	317	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



当期「借入れした」とする割合は、前回調査から4.9ポイント増加しています。

当期に借入れした総額はいくらですか。

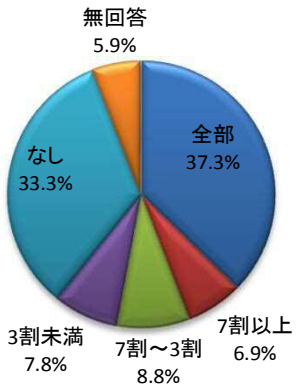
	16年1～3月期		15年10～12月期	15年7～9月期	15年4～6月期	15年1～3月期
借入れ総額	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	41	40.2%	43.3%	42.9%	41.4%	39.6%
5千万円以下	41	40.2%	38.9%	41.8%	46.5%	45.8%
1億円以下	9	8.8%	10.0%	8.2%	5.1%	8.3%
2億円以下	1	1.0%	2.2%	4.1%	3.0%	2.1%
4億円以下	1	1.0%	1.1%	2.0%	0.0%	1.0%
4億円超	1	1.0%	1.1%	1.0%	1.0%	0.0%
無回答	8	7.8%	3.3%	0.0%	3.0%	3.1%
総計	102	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



借入総額は「1千万以下」「5千万円以下」が合計で80.4%と大部分を占めています。

当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

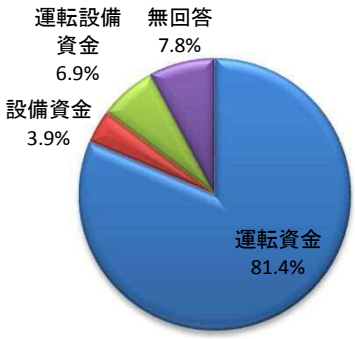
	16年1～3月期		15年10～12月期	15年7～9月期	15年4～6月期	15年1～3月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	38	37.3%	30.0%	35.7%	37.4%	0.0%
7割以上	7	6.9%	7.8%	10.2%	7.1%	0.0%
7割～3割	9	8.8%	12.2%	12.2%	10.1%	0.0%
3割未満	8	7.8%	4.4%	4.1%	6.1%	0.0%
なし	34	33.3%	41.1%	36.7%	35.4%	0.0%
無回答	6	5.9%	4.4%	1.0%	4.0%	0.0%
総計	102	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



前回調査と比べ、信用保証付き借入れの割合は「全部」とする回答が7.3ポイント増加し、「なし」とする回答が7.8ポイント減少しました。

当期借入金の目的は何ですか。

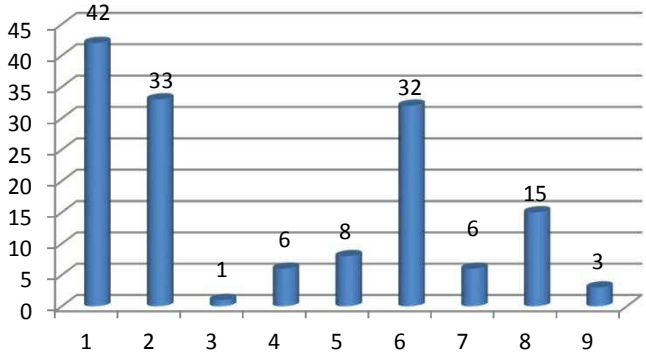
選択肢	回答数	構成比
運転資金	83	81.4%
設備資金	4	3.9%
運転設備資金	7	6.9%
無回答	8	7.8%
総計	102	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか（複数回答）。

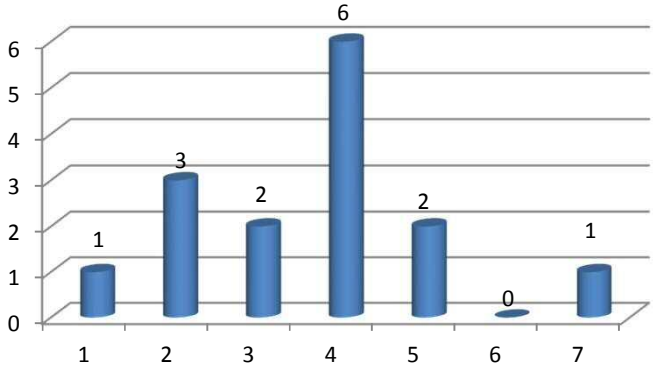
選択肢		回答数
1	***既往借入の借換え***	***42***
2	売上減少・赤字補填	33
3	過剰在庫対応	1
4	支払条件短縮対応	6
5	回収条件悪化対応	8
6	売上増加運転資金	32
7	在庫積み増し	6
8	季節運転資金	15
9	その他	3
総計		146



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が一番多く、次いで「売上減少・赤字補填」「売上増加運転資金」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか（複数回答）。

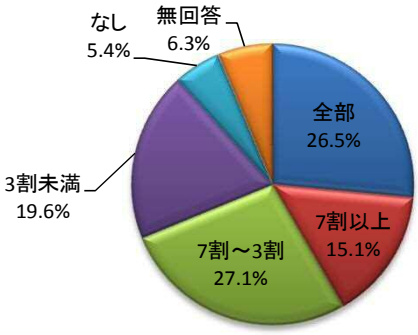
選択肢		回答数
1	新規事業	1
2	生産増強	3
3	合理化・効率化	2
4	設備老朽化に伴う入替	6
5	修理・修繕	2
6	公害防止・環境関連	0
7	その他	1
総計		15



設備資金の種類は、「設備老朽化に伴う入替」が一番多く、次いで「生産増強」となっています。

Ⅳ. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末（16年3月末）借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

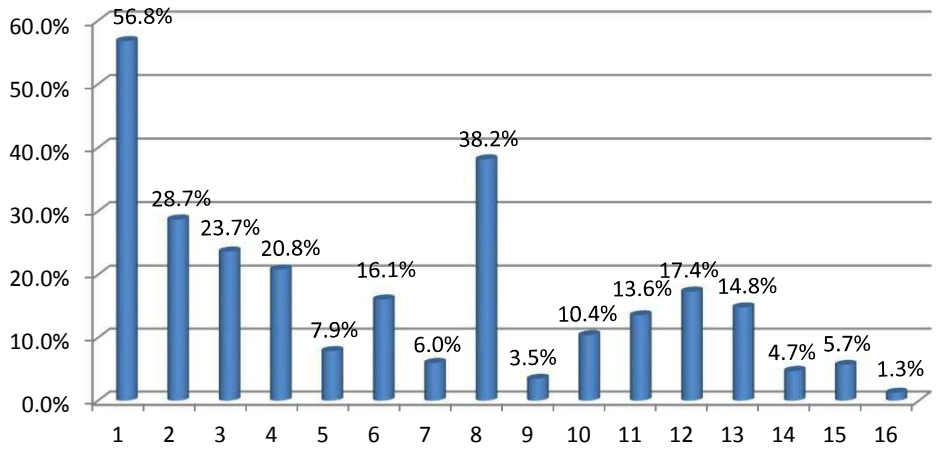
	16年1～3月期		15年10～12月期	15年7～9月期	15年4～6月期	15年1～3月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	84	26.5%	23.3%	22.9%	23.7%	0.0%
7割以上	48	15.1%	16.7%	19.8%	18.4%	0.0%
7割～3割	86	27.1%	26.7%	28.7%	28.9%	0.0%
3割未満	62	19.6%	20.0%	20.1%	17.8%	0.0%
なし	17	5.4%	4.2%	4.0%	5.8%	0.0%
無回答	20	6.3%	9.1%	4.6%	5.3%	0.0%
総計	317	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



借入総残高に占める信用保証利用の割合は、「全部」「7割以上」「7割～3割」の合計が68.7%と、前回に比べ2.0ポイント増加しています。

Ⅴ．その他（経営上の課題等）について該当する番号をご記入ください(複数回答）。

選択肢		回答数	回答割合	選択肢		回答数	回答割合
1	***売上・受注の減少***	***180***	***56.8%***	9	過剰在庫	11	3.5%
2	***競争激化***	***91***	***28.7%***	10	設備投資	33	10.4%
3	コスト高	75	23.7%	11	後継者難	43	13.6%
4	業界構造変化	66	20.8%	12	資金調達	55	17.4%
5	取引条件の悪化	25	7.9%	13	借入過多	47	14.8%
6	消費者ニーズの多様化	51	16.1%	14	為替	15	4.7%
7	技術・商品開発	19	6.0%	15	海外景気の減速	18	5.7%
8	***人材・労働力の確保***	***121***	***38.2%***	16	その他	4	1.3%



経営上の課題については、「売上・受注の減少（56.8%）」が最も回答割合が高く、次いで「人材・労働力の確保（38.2%）」「競争激化（28.7%）」「コスト高（23.7%）」の順となっています。